

私たちができること

なまき小六十二 大田 美波

十二月十三日、人と防災未来センターで、

地震にあつた大学生の人の話を聞きました。

十二年前に神戸でおきた兵庫県南部地震は、

七千九百六十四人、けが人が

四万三千七百九十二人、こわれた家が二十四

万九千八百八十棟という大きな被害をもたらし

ました。私は、とすれた建物の数を想像する

と、このH A T神戸にたてている建物より多

かたです。亡くなった人の数なども思いう

かべると、背中がゾクゾクとしました。こんな

にたくさんの被害を出したんだなと、改めて

感じました。

ネパールにフいで話を聞きました。ネハ

ルの家はともこわれやすく、実験をする

少しのゆれで全部がくずれたと言ていまし

た。ネハールの子どもたちも、食べ物も少な

くて、目を見るところほとんど生きた感じがな

たそうです。ネハールは私たちが当たりまえ

にしていることかできない場所なんだと思  
い、私たちか学校で食べ残した物だけでも食  
べさせてあげたいと強く思いました。  
次にスリランカのこの前の地震についての  
話を聞きました。この地震は大きな津波もお  
きて、多くの人がかてくな。たと言っていますし  
た。日本に来たスリランカ人は話して  
も返事がほとんどいっらん。しかかなかう  
です。私は、地震は多くの人に悲しい思い  
させちゃう。こわいことなんだなと思いま  
した。  
いろいろ地震の話聞いて、地震は町も  
傷つけるだけでなく、人々の心も傷つけるほ  
ど、とても強い力を持っているんだなと、改  
めて思いました。  
地震で、世界の多くの人が亡くなっていた  
めに、一人一人が防災グッズを用意するなど、  
地震の対策をして、多くの人が悲しい思いを  
おくと引きますらないために、みんなではげま  
し合いができる世界になればいいと思います。